

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本学院は、教務委員会を設置している。教務委員会で作成された自己点検・自己評価について、客観性と透明性を高め、教育の一層の充実を図る事を目的として、学校関係者評価委員会を設置している。委員会は、本学院が作成した自己点検・自己評価の結果について検証・評価及び助言を行い、その結果を理事会に報告し、公表するものとしている。学校関係者評価委員会は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から院長が選考し、委嘱している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社スージーパーカー	R02.04.01～ R04.03.31	企業関係者
有限会社東陽商事	R02.04.01～ R04.03.31	卒業生
学校法人北翔大学	R02.04.01～ R04.03.31	学校関係者
NPO 法人地域対話士協会	R02.04.01～ R04.03.31	学校関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.doreme.ac.jp/
--

令和3年度
(2021年度)

学校関係者評価報告書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

令和4年5月1日

学校法人 浅井学園
札幌ファッションデザイン専門学校 **DOREME**

令和3年度 学校関係者評価について

1. 概要

札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME が、教育水準の向上及び活性化、社会的責任を果たす事を目的として、学則を基本として学校の目標と教育の実態を照らし合わせ、自らの教育活動等の状況について自己点検を行い、現状把握及び認識をした上で、その結果を踏まえ、自己評価し、その結果について学校関係者の評価を行った。

2. 実施日時

令和3年3月25日（金）15：00～17：00

3. 実施場所

本校ヘアメイク室及び ZOOM アプリを使った遠隔

4. 実施方法

1) 実施組織：学校関係者評価委員会

<学校関係者評価委員>

- ・荒井 三明 様（有限会社スージーパーカー代表取締役）：企業等役員
- ・工藤 知徳 様（有限会社東陽商事営業企画チーフ）：卒業生
- ・大関 慎 様（学校法人浅井学園北翔大学短期大学部学科長）：教育関係者
- ・谷川 幸雄 様（NPO 法人地域対話士協会理事長）：教育関係者

<学校側参加者>

- ・浅井 学 （札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME 校長）
- ・川村 明美（札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME 教頭）

2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

3) 評価方法：令和3年度学校運営・教育活動実績報告に対する学校関係者評価

5. 評価項目

次の10項目について実施

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学習成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生受入募集
- 8) 財務状況

- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

6. 評価項目に対する評価

- 1) 4段階点数評価とする
- 2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

①項目3 教育活動に関する質問

(委員からの質問)

休学退学者について、改善をする方法について教えて欲しい

(本学の回答)

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定通りのカリキュラムを遂行することに神経を注いだ状況であった。通いやすい環境を構築するために、長期休暇（夏と冬休み）を減らし、代わりに隔週水曜日を自宅学習日に振り返る措置を行ったところ、学生たちはリフレッシュできている様子であった。

(委員からの質問)

卒業生との連携を充実させることはできないか。

(本学の回答)

本年度の同窓会は、最近はコロナのため延期となった。同窓会が卒業生との接点であることから、次年度はなんとか開催をしたい。

(委員からの質問)

学生のメンタルケアはどのように行っているのか

(本学の回答)

本校は毎年2月に **Dcreation** というイベントを行っており、これに向けてチームで作品を作り上げていく。この時、人と議論をしたり、共同作業をする活動を通じて、人との密なコミュニケーションの取り方を学習していく。その中で人間関係に躓いたりした場合には、担任が中に入り、調整を行っている。その他の学校生活の中で起こる学生の悩みについては、個別に担任が聞き取りを行い、教務委員会で取り上げ、個別面談に入りながらきめ細かく対応を行っている。

②項目10 社会貢献・地域貢献に関する質問

(委員からの質問)

社会貢献・地域貢献を詳しく教えて欲しい

(本学の回答)

本年度は、別海町新設ホテルのサウナ衣装制作コンペティション、一般社団法人ボウリング協会主催デザイン画コンテストなど、本校独自のコラボ企画を実行することで、社会貢献を行うことができた。

7. その他

1) 令和2年度の学校自己点検・評価報告書を基に点数評価を頂いた。

- ・項目 1 教育理念・目標 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 2 学校運営 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 3 教育活動 評価項目 3.5
課題：資格取得率の向上に向けて、更なる改善が必要
- ・項目 4 学習成果 評価項目 3.5
課題：学生の習熟度を把握する方策を検討する必要がある
- ・項目 5 学生支援 評価項目 3.8
課題：休学・退学の低減に向けた施策を計画する必要がある
- ・項目 6 教育環境 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 7 学生受入募集 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 8 財務状況 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 9 法令等の遵守 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価
- ・項目 10 社会貢献・地域貢献 評価項目 4.0 全ての項目について適切と評価